

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京都市上下水道局			代表者名	京都市公営企業管理者上下水道局長 吉川 雅則
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部企業力向上推進室	連絡先電話番号	075-672-7757
担当者役職	主事	担当者氏名	松原 有沙	連絡先E-mail	
住所	601-8116 京都府京都市南区上鳥羽鉾立町11番地3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	上下水道事業に係るデジタル化・DX推進
概要	他自治体におけるデジタル技術の活用事例や、導入時に直面した課題などについて講演いただくことで、苦手意識を持たれがちな「デジタル」への関心を高め、職員のモチベーション向上につなげる。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月5日	講演(実地)	9時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	360
2-2. 派遣場所	会場名	京都市上下水道局総合庁舎 4階 大会議室		最寄駅	地下鉄 十条駅
	所在地	〒601-8116 京都市南区上鳥羽鉾立町11番地3		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡田 俊樹
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	豊田市でのDX導入事例や取組を分かりやすくご紹介いただきました。DXを導入するに当たり、どういうところが課題だったか、留意点なども交えながら、ユーモアにお話いただきました。これからの上下水道DXを考える当局職員にとって、非常に有意義な研修になったと感じています。また、講演後には当局職員からの相談にも積極的に応じていただき、貴重なアドバイスをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	83人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	70	13	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当局のデジタル化推進計画に基づき当該事業を進めているものの、「デジタル」に対して苦手意識を持つ職員が多く、何をどのように進めればよいかわからないという課題がある。こうした状況も大きな要因となり、先進的に取り組んでいる他都市等と比較して、デジタル化・DXの推進が十分に進んでいないのが現状である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	「デジタル」に関心を持つ職員を増やし、当局でデジタル化・DXを推進するきっかけを作る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	当局におけるDX推進に向けて、豊田市のDX導入事例や取組について、課題や留意点を交えながらご紹介いただいた。また、講演後には、DX推進に関する当局職員からの相談にも積極的に対応いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	上下水道DXに関心を持つ職員が増加した。また、具体的な導入事例を聞くことにより、当局におけるDX推進を検討するきっかけになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	内容：講演の感想について(自由記述) 分析結果：別添「アンケート分析結果」参照	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	限られた財源・職員数で複雑・多様化する行政課題に対応するため、職員一人ひとりが積極的にデジタル技術を活用する環境・組織づくりを目指し、上下水道DXの推進に向けた機運醸成を図る。 また、お客さまサービスの向上や業務改善に繋がるツールやシステムなどを検証し、必要な経費があれば、具体的に積算し、来年度予算化を図っていきたい。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	・「デジタル」に関心を持つ職員を増やし、職員一人ひとりが積極的にデジタル技術を活用する環境・組織づくりを目指す。 ・デジタル技術を最大限に活用することで、より利便性の高いお客さまサービスの提供、効率的で効果的な施設・設備の維持管理等を実現し、お客さま(市民)の満足度に繋げる。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
<div><div></div><div></div></div>		